

2011年度

科目名	図書館資料論				
担当教員	大平 睦美				
配当	文 2・教育2・人間2			コード	24090
開期	後期	講時	火曜日4限	単位数	2
授業テーマ	図書館資料の詳細な把握、選書・収集・蔵書構築の重要性、および高度情報社会における出版動向の理解				
目的と概要	図書館の重要な要素として欠くことの出来ない図書館資料の類型・種類・特性など全般について言及する。図書館資料の選書・収集・保存等のプロセス、および蔵書(コレクション)構築・評価等について学習する。また、出版の動向や流通について取り上げ、図書館との関連を言及する。図書館資料の取り扱いおよび利用サービスに関わる「図書館の自由」と「図書館員の倫理綱領」について理解し、図書館資料構成についての実践的な能力を養成する				
成績評価法	演習課題の提出により、主たる評価を行う。このほか授業中の発表等を加味し、総合的に評価する。 演習課題60%、授業への参加、貢献40%				
テキスト	『図書館資料論』馬場俊明編著『図書館資料論』(JLA図書館情報学テキストシリーズ) 日本図書館協会				
参考書	『表現の自由と「図書館の自由」』(図書館の自由16)JLA図書館の自由に関する調査委員会編 日本図書館協会				
履修に当たっての注意・助言/準備学習	図書館の資料について学習することは、司書になるためだけではなく大学で主体的に学習するためにまた、生涯学習者として必要な内容である。授業時には積極的に参加し、自立した学習態度を身につけて欲しい。授業準備としては前回の内容を確認して臨むこと。				
講義計画					
1. 図書館資料の意義・何を学ぶのか？ 2. 図書館資料と図書館の自由 3. 資料の種類と特質 (1) 印刷資料 4. 資料の種類と特質 (2) 非印刷資料 5. 資料の種類と特質 (3) 電子資料 6. 資料の種類と特質 (4) 政府刊行物/地域資料/灰色文献 7. *課題演習 8. 出版と流通 9. 図書館資料と著作権 10. *課題演習 11. 蔵書の維持管理、蔵書の形成 12. 資料の収集と選択 13. 資料の受入、蔵書管理 14. *課題演習 15. まとめ					